



篠原小学校「学校だより」

令和7年3月18日

しのささっ子



1年間ありがとうございました

本日の修了式をもって、令和6年度の教育活動が終了しました。「心と心が響き合う学校」を教育目標に掲げ、自他を大切にする教育に取り組んできました。特に今年度は、子供たちの主体性の醸成に重点を置いた教育を進めてきました。自分で考え、判断し、行動する力を育むために、学習や行事などの活動において、自己決定の機会を多く設定し、励ましてきました。目標に向かって挑戦する子供たちの姿を多く見ることができました。また今年度は、創立150周年の記念の年でもありました。様々な記念行事を通して、子供たちが学校に誇りと愛着をもち、地域や自分の未来に夢や希望をもつ機会となりました。

修了式では、子供たちに次のような話をしました。

皆さんがこれからもチャレンジする気持ちを大切に、さらに成長することを願って、「口ぐせを変えよう」というお話をします。

みなさんは、チャレンジしてできるようになりたい、成長したいと思っているでしょう。でも、口ぐせには、チャレンジする気持ちにブレーキをかけて邪魔してしまう言葉があるのです。ブレーキをかけてしまう言葉を紹介します。

「えー」「無理」「だって」「どうせ」

このような言葉を言っている人はいませんか。どうしてチャレンジを邪魔してしまうのかというと、これらの言葉は全部言い訳だからです。チャレンジする前に、できない言い訳を言って、自分を守ろうとする言葉です。

反対に、チャレンジする気持ちが強くなる言葉があります。校長先生が調べてみたら、10個もありました。いくつ見付けることができますか。考えてみてください。

紹介します。

「大丈夫」「がんばろう」「よし」「やってみよう」「できる」「楽しもう」「チャンス」「何とかなる」「ありがとう」「イエーイ」

口ぐせは、その人の心の強さ、弱さを表すと言われます。みなさんの未来には、大きな可能性が広がっています。口ぐせを変えて、チャレンジする気持ちをさらに高めて、大きく成長してください。来年度も、皆さんのチャレンジする姿を期待しています。



保護者の皆様には、この1年間、学校教育に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後も、子供たちが自他のよさを認識しながら、前を向き、力強く人生を切り拓いていけるよう、職員一同努力して参ります。今後も変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。

篠原小学校長 結城 知則